

# 要旨の把握 通過率41.3%

主な解答例		割合(%)
○	a 工夫 b 読書の楽しみ	41.3
×	a 工夫 b 読書の面白さ	1.8
×	a 創意 b 読書の楽しみ	1.0
×	a 工夫 だけ正解	21.3
×	b 読書の楽しみ だけ正解	18.4
×	上記以外の解答	10.7
—	無解答	5.5

スロー・リーディングとは、一冊の本にできるだけ時間をかけ、書き手の仕掛けや（a）に注意を払いながら読むことによって、（b）を見出す読み方のことである。

3 次の [ ] は、文章をもとに、読書法についてまとめたものです。（ ）に入る最も適切な語句を、文章中から（a）は二字、（b）は六字でぬき出して書きなさい。

平野啓一郎  
「本の読み方 スロー・リーディングの実践」による。

誤答を見ると、a, b どちらか一方だけを間違えたものが多い。「スロー・リーディング」というキーワードに関する複数の情報を見付け、関連的にとらえることができていると考えられる。

## 内容の系統

第1・2学年 読むこと  
時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。

第3・4学年 読むこと  
目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。

第5・6学年 読むこと  
目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。

中学校 第1学年 読むこと  
文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。

## 提案

生徒が目的や必要に応じて情報を取り出し再構成をするような授業を仕組みましょう。

生徒が主体的に目的や必要に応じて情報を取り出し再構成するような授業を仕組むことが必要となります。その際には、目的や必要に応じた情報とは何かを考えさせることが必要です。例えば、「スロー・リーディングを勧めるリーフレットを書く」という単元を貫く言語活動を設定します。その際に、読み手にスロー・リーディングをしたいと思わせ、実際に行わせるという目的のためには、「スロー・リーディングとは何か、どんな効果があるか、具体的にどのように行うか」といった複数の情報を見付け、まとめることが必要であることに気付かせます。そのうえで、教材や集めた資料等を読ませて、必要な情報を取り出して再構成させていく単元を展開していくことなどが考えられます。